

令和5年3月24日(金) 13時～15時

京都発
脱炭素ライフスタイル
推進チーム
～京創ミーティング～
第5回会議



本日のスケジュール

13 : 00	開会 － 挨拶（京都市 猪田地球環境・エネルギー担当局長）
13 : 10	京創ミーティングの成果の共有 － 推進チーム（10分） － WGプロジェクト（35分） <u>※途中、質疑応答の時間を設けます。</u> － 市民ワークショップ、市民ライター（10分）
14 : 05	今後の取組
14 : 10	意見交換、皆様から一言
14 : 50	情報共有（脱炭素先行地域）
14 : 55	今後のスケジュール、事務連絡
15 : 00	閉会 － 挨拶（京都市環境保全活動推進協会 新川理事長）

京創ミーティングの成果の共有 - 推進チーム

第1～4回会議（令和3年9月～令和4年7月）



2050京創ミーティング発足



2050年のビジョン、2030年アクション案、目標・指標等を議論



2050年ビジョン、キャッチコピーを議論



2050年のビジョン等の共有や普及の進め方、今後の活動を議論

ビジョンの策定（令和4年10月）

京都の自然と共生する文化やしまつのところを礎に
自分らしい持続可能な暮らしの選択で実現する
カーボンニュートラルで豊かな社会



ていねいな暮らし

スマートな暮らし

結う暮らし

脱炭素ライフスタイルの転換を呼び掛けるキャッチコピー



京創ミーティングの成果の共有 - 推進チーム



約10,000箇所に掲示



市内200箇所以上に配架予定



市政広報版ポスター（令和4年11月）

パンフレットの作成（令和5年3月）

公式ホームページ『2050MAGAZINE』の開設（令和4年10月～）



ホームページ、SNS※閲覧数 約60,000件（令和5年3月現在）

※Facebook、Instagram、Twitter、Spotify

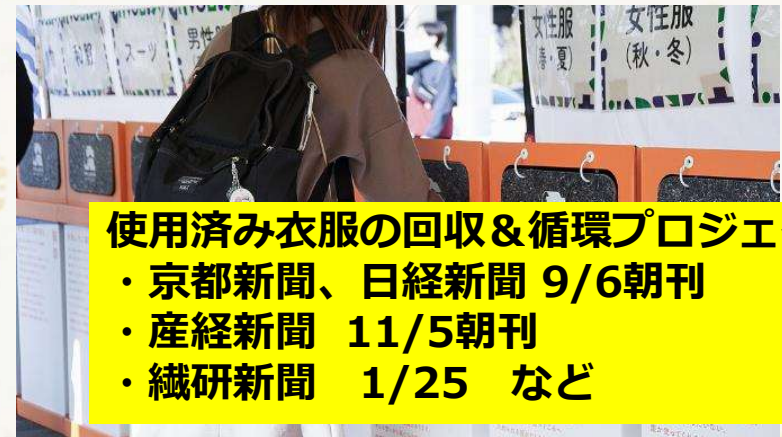


京創ミーティングの成果の共有 - 推進チーム

新聞各紙に掲載



脱炭素ライフスタイルのビジョン
・ 京都新聞 10/21朝刊



使用済み衣服の回収&循環プロジェクト
・ 京都新聞、日経新聞 9/6朝刊
・ 産経新聞 11/5朝刊
・ 織研新聞 1/25 など

京創ミーティングの皆さまによる発信



京都市小学校給食献立表（教育委員会）
・ 推進チーム笹岡様より、地球にやさしい食事に関する記事の掲載を助言



あつまれ！京わくわくのトビラ11・12月号（子ども若者はぐくみ局）
・ つながりWG中田様の堆肥を活用した、ジュニア京都文化観光大使による藍染め体験

京創ミーティングの成果の共有 - WGプロジェクト

消費行動	住まい	つながり
●岩崎 達也 MAGASINN KYOTO オーナー	●大木 和典 mui Lab (株) 代表取締役	●太田 航平 NPO法人 地域環境デザイン研究所ecotone 代表理事
岩崎 仁志 (株) ヒューマンフォーラム	●鈴木 靖文 (有) ひのでやエコライフ研究所 代表 取締役	十塚 悠 合同会社洛北社中 代表、 大宮交通公園 管 理人
堤 卓也 (株) 堤浅吉漆店 専務取締役	丸屋 亮介 (株) ジェイ・エス・ビー 営業推進本 部 副本部長	●中嶋 直己 (株) 中嶋農園 4代目
野村 宏美 パタゴニア京都	吉田 創一 (株) フラットエージェンシー 代表取 締役	中田 俊 (株) 夢びと 代表取締役
●前田 展広 前田展広事務所 代表 (京都市ソー シャルイノベーション研究所 イノ ベーション・コーディネーター)		●野村 恭彦 Slow Innovation (株) 代表取締役
岡本 哲昌 (株)大丸松坂屋百貨店 大丸京都店		東 信史 (責) まちとしごと総合研究所 代表
本山 喜之 (株) ビオスタイル		

五十音順・敬称略, ●推進チームメンバー

事務局：京都市, (公財)京都市環境保全活動推進協会

消費行動WG プロジェクト

	名称	内容
1	使用済衣服の回収&循環プロジェクト	RELEASE⇔CATCHの取組拡大（市内全学校への設置や企業協賛の検討等）
2	四条通をサステナブルのシンボルへ	サステナブルの象徴である祇園祭の駒形提灯再エネ化で発信
3	里山や地域循環について知る機会の創出	循環ツアーの拡大（堤氏フィールドでの実証、共創企業の拡大）
4	レスキュー野菜の地域での販売	二条公園横にオープンしたミックスジュース店「CORNER MIX」等で展開
5	アートやデザインを活用したアップサイクルの実施	京都市立芸大移転（10月新キャンパス開校）に合わせた活動の検討
6	脱炭素チャレンジ	京都環境賞の活用(PJの取組を応募、情報発信の連携)、「2050 MAGAZINE」の企画として実施
7	菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化	新規WGメンバーにKYOTOVEGAN玉木氏を迎え、ビーガンマンデー等の取り組みきっかけの創出や飲食店向けビーガン対応の勉強会を開催
8	エコポイント制度の導入	つながりWGでごみカフェ京都による堆肥に関連してポイント化を実施（京都祭コインCOMO）

<令和5年度 新規プロジェクト>

環境負荷の見える化プロジェクト（仮称）	Earth hacks「デカボスコア」と連携し、スーパー等小売店での環境配慮商品のCFPの見える化や勉強会の開催から取組を広げる
---------------------	--

実証に進んだプロジェクト

消費行動① 使用済衣服の回収&循環プロジェクト

目的 使用済衣服を回収し、地域内でリユースする仕組みを創出することで、リユース衣服を利用する若者カルチャーを醸成する。

方法

- ・ 市内施設に回収BOXを設置し、リユースを目的に使用済み衣服を回収する。
- ・ 回収した衣服を選別のうえ、リユース可能な衣服は販売等により域内循環を目指す。リユースが難しい衣服はリサイクル等で活用する。

メンバー 岩崎（仁）★コーディネーター：前田
プロジェクトに参画：京都信用金庫、安田産業（株）、（株）ジェイ・エス・ビー

目標

- ・ 回収BOX設置箇所：令和5年度には市内中心（府下）に300箇所
- ・ 使用済衣服の回収量：年間360トン（144万着相当）

効果測定

- ・ 回収に伴うごみの削減量
- ・ 使用済衣服の廃棄に係るCO2削減と新規衣服の製造に係るCO2の削減

実績 **【回収BOXの設置・回収】**
・ R4年9月開始。2月末時点で161箇所（うち市内57箇所）に設置。R5年4月以降に全市立高校（9箇所）に設置予定。
・ 累計6,572kg（約26,000着）回収。
【循環フェスの開催】
・ R4年7月31日@京都市役所前広場（約4,500人参加）／R4年11月27日@梅小路公園（約12,000人参加）
※取組によるCO2削減量：約100.1t-CO2
ホームページ：<https://release-catch.com/>

その他 令和4年度使用済製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業 採択

（WGで出たアイデア）使用済衣服の回収・持ち帰りとポイント（京都祭コインCOMO等）との連携

R5年度の展開

RELEASE⇔CATCHの取組拡大（市内全学校への設置や企業協賛の検討等）

消費行動① 使用済衣服の回収&循環プロジェクト

不要になった衣服を回収BOXへ

市民の皆様



RELEASE
CATCH

新しい所有者が活用

販売、イベント（循環
フェス）等での無料提供、
支援団体等への寄付

製品化し、販売等

リユース

リサイクル



実証に進んだプロジェクト

消費行動③ 里山や地域循環について知る機会の創出

目的 産地と消費地をつなげ、モノのストーリーを知り大切にする心を育む

方法 産地を巡る「循環ツアー」を実施
 (例) ・地元材を使用したものづくり、修理等の体験イベント
 ・産地での栽培及び収穫体験イベント等

メンバー 堤、本山 ★コーディネーター：前田 プロジェクトに参画：藤本（JTB）

効果測定

- ・ 地産地消による削減（輸送エネルギーのCO2削減）
- ・ ものを長く大切に使うことによる削減（廃棄を減らす、使い捨て等の新製品製造を減らすことによるCO2削減）
- ・ 移動にかかるCO2削減
- ・ 参加者の行動変容アンケート調査（ツアー参加後に実践したアクションから算出）

実績

「京都 | モノの源流を巡る循環ツアー」モデルツアーを実施
 (1) 10/26：メディア向け（15名）
 (2) 11/23：EVタクシーで巡る京都京北モノの源流ツアー（4名）
 (3) 11/27：「かけもち」運送バスで巡る京都京北モノの源流ツアー（10名）
 【取組によるCO2削減量】※ (2)、(3)のツアーによるCO2削減量
 ・ 環境に配慮した移動手段に伴うCO2削減量：6.4kg-CO2
 ・ 事後アンケートから算出した参加者行動変容による削減量：501kg/年
 開催レポート：<https://doyoukyoto2050.city.kyoto.lg.jp/news-topics/junkantours-report/>

その他 日新電機グループ社会貢献基金を活用
 (WGで出たアイデア) 工芸の素材から巡るツアー（京町家での宿泊や漆塗り体験で製作した器でご飯を食べる等のプログラム）

R5年度の展開

「循環ツアー」実施の拡大（堤氏フィールドでの実証、共創企業の拡大）

消費行動③ 里山や地域循環について知る機会の創出



実証に進んだプロジェクト

消費行動④ レスキュー野菜の地域での販売

目的 まだ食べられるのに廃棄される野菜を地域で販売し、CO2削減や食品ロスを削減する

方法 生産や流通過程においてまだ食べられるのに廃棄されてしまう野菜「レスキュー野菜」を商店等の軒下販売や食品の材料として活用する。

メンバー 岩崎（達）、本山 ★コーディネーター：大関

効果測定

- ・食品ロスの削減（レスキューできた野菜の量）
- ・購入がなくなかった別の野菜の製造に係るCO2削減

実績

レスキュー野菜を活用した「レスキューミックスジュース」の商品開発及び店舗（CORNER MIX）での販売

- ・令和4年12月9日販売開始
- ・レスキューミックスジュース販売点数 約165杯（11/12～2/28）

レスキュー野菜の重量：33.5kg（かぶ、白ネギ、大根、トマト、ブロッコリー等）

ホームページ：<https://mixmixmix.jp/>

（WGで出たアイデア）

- ・使い捨てカップではなく、マイボトルやマイカップを使用する場合の環境負荷の物差しの作成
- ・GOOD NATURE STATIONの前庭スペースでの販売



R5年度の展開

二条公園横にオープンしたミックスジュース店「CORNER MIX」等で展開

消費行動④ レスキュー野菜の地域での販売

CORNER MIX Instagramより



mixkyoto CORNER MIX FOOD MENU RESCUE MIX !

※こちらは12月のメニュー記録です。

12月のレスキュー野菜を使ったミックスは、カリフラワーや大根、蕪を使ったあたたかい和風ポタージュでした 🍲

*レスキュー野菜とは...

新鮮で美味しいのに需要減や生産・流通の問題から廃棄されていた状況から、きちんとお客様へ届け直される野菜のこと

レスキューミックスは、季節の野菜やフルーツを使った地球にも身体にも美味しいドリンクです！

その時その時に巡り合った食材をおいしく適正価格で召し上がっていただけるよう、皆で知恵を絞ってメニューをつくっています 🍎

ぜひお楽しみください！

レスキュー野菜メニュー開発パートナー

西喜商店 @nishikisyouten

喫茶マドラグ代表 山崎三四郎裕崇

@madrague_sanshiro

<https://instagram.com/mixkyoto?igshid=YmMyMTA2M2Y=>



mixkyoto CORNER MIX FOOD MENU RESCUE MIX !

2月のレスキューミックスは『MIXのランチセット』！



ランチのセット内容はこちら 📌

- ① 滋賀産の白ネギと、北海道産のじゃがいもを丁寧にソテーして作ったすりながし 🍴
- ② 京都産のトマトのコンフィ 🍅
- ③ セサミパン 🍞

③のセサミパン 🍞 をホットドッグ 🌭 に変更もできます！
(+360yen) ポリユミーなホットドッグランチもおすすめ！ 😊

ホットドッグに変更しない場合は、ヴィーガン対応メニューとなっております。

R5年度に取り組を進めるプロジェクト

消費行動⑦ 菜食対応のメニューを提供する店舗の見える化

目的 菜食を増やすことによる環境負荷を低減する

方法

- ・ 菜食専門店以外の飲食店のメニューに菜食料理の追加を提案する。
- ・ 菜食料理の提供に関する情報を整理し、発信する。

メンバー 玉木（[京都ビーガン](#)、[dinehelper](#)） ※令和5年度WG新メンバー

効果測定 菜食中心食によるCO2削減量×食事提供数

R5年度の展開

- ・ ビーガン対応の店舗を紹介するKYOTO VEGANのWEBサイトを充実させ、ビーガンマンデー等の取り組むきっかけを創出する
- ・ 飲食店向けにビーガン対応のメニュー開発の勉強会を実施する



MAPを見る

KYOTOVEGAN



R5年度 新規プロジェクト

課題	市民にとって何が 脱炭素につながる行動 なのか分かりづらい。
仮説	・市民が脱炭素につながる行動を知り、事業として面白いコンテンツにつなげることで、脱炭素ライフスタイルの取組が広がる。 ・今の活動やどんな行動がどのように脱炭素につながっているかを示すことができれば、環境配慮の行動・選択による脱炭素への貢献度合いがイメージできる。
関連情報	・国立環境研究所 国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの効果を定量化 ・合同会社KICSは、エコ推進事業でカーボンオフセットに取り組んでいる。

【新規】環境負荷の見える化プロジェクト（仮称）

目的	環境負荷を見える化することで環境配慮商品・サービス等を普及促進する
方法	・カーボンフットプリントの表示に関心のある企業向けに、商品の環境負荷の表示や勉強会等を実施する ・商品購入の際に消費者が「環境負荷」を意識してもらうよう啓発する
メンバー	Earth hacks（仮）

「この商品のCO2排出量は○kg」
と言われても良くわからない・・・



みんながわかる**”指標”**をつくりたい

【新規】環境負荷の見える化プロジェクト（仮称）

Earth hacksとは…

生活者の脱炭素アクションを促進するプラットフォーム

デカボスコアを通して、環境に配慮した商品の価値を生活者に分かりやすく伝えるほか、メディアやイベントなど生活者の主体的な脱炭素アクションの場や機会を作っていく。

①新しい選択基準

デカボスコア

商品単位でのCO2排出削減率の
スコア化&認証事業



②新しい選択肢

デカボチョイス

SNSなどの自社メディアと共に、
外部媒体と連携したメディア事業



朝日新聞 J-WAVE
YAHOO! JAPAN ELLE
フジテレビ 0テレ

③新しい関わり方

デカボチャレンジ

生活者が企業にアイデアを提案する
共創型コミュニティ&イベント事業



【新規】環境負荷の見える化プロジェクト（仮称）

今後の展開案

・ Earth hacksメディアでの京創ミーティング特集



2022.8.09 / Sponsored, エシカル, サステナビリティ, 環境保全, 脱プラスチック, 脱炭素
明治42年創業、京都のうるし屋「堀浅吉漆店」さんが漆を塗ったスケートボードをつくっています。

これがめっちゃくちゃこいい。

漆特有の光沢感とぬくもり。
プラスチックや普通の木材の板では出せない風合いです。

自分の“スタイル”が表れる傷ついたデッキも愛着が湧いてしまうけど、
漆だから傷ついたり壊れた部分も修理でさちゅう。
もはや一モノのスケートボードです。

「堀浅吉漆店」の堀浅吉さんは漆産業の再生を願い、漆の素晴らしさを伝えるためにこのスケートボードをつくったと言います。

・ 環境配慮商品へのデカボスコアの表示支援



- ※有料パッケージ
- ・ デカボスコア表示
(1商品/年間利用権)
 - ・ メディア記事掲載
 - ・ ECサイト (Yahoo! ショッピング) 販売
 - ・ マルシェ出店権
 - ・ 大学生アンバサダーのインタビュー等

・ 大学生アンバサダーとの共創



関西エリアのアンバサダーと連携

・ デカボスコア表示店舗によるマルシェ開催



住まいWG プロジェクト

	名称	内容
1	つながりを感じられる住まいづくり (京都の冬は寒くないプロジェクト)	取組内容の充実、実証フィールドの拡大（例：窓メーカー・ホームセンター等と連携した内窓設置のモデルケースづくり等）
2	賃貸マンションの再エネ電気切替促進	賃貸マンションのオーナー向けアンケート調査の実施に向け調整を進める (断熱等も含めた項目のブラッシュアップ、調査先の調整等)
3	実証実験によるデータ収集・分析と発信	・ 学生向けアンケート調査の拡充と結果の発信方法の検討 ・ 入居者の使用電力の見える化に関する実証事業の展開
4	省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用	大学生向け通販カタログのデフォルト表示比較 →（実証終了）
5	住宅の省エネ・再エネ分を取引できる仕組み	DRによるDXを活用した行動変容について検討（サブグループ）
6	賃貸住宅紹介時の省エネ性能の見える化	不動産仲介業者等との連携
7	断熱性能の良い家の体験の場づくり	京都市住宅室との連携
8	中古家電・家具2Rプラットフォーム	学生マンション退去時の家具・家電のリユース
9	情報共有のHUBづくり	「2050 MAGAZINE」にて情報発信を行う

実証に進んだプロジェクト

住まい① つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）

目的	地域・社会における孤立を防ぎ、地域ぐるみでの面的な脱炭素ライフスタイルの実践・教育につなげる
方法	- 学生寮やシェアハウスの住民グループで環境配慮活動に取り組む 取組例：農園部、コンポスト、断熱ワークショップ - 実施に当たっては、地域住民と連携を図る。また、学生を入れたチームを編成し、学生主体で楽しく取り組む。
メンバー	丸屋，吉田，鈴木 ★コーディネーター：前田
効果測定	＜木野寮断熱WSの削減効果＞ 二重窓の設置による断熱効果を測定
実績	木野寮の入居学生と共に〈サステナブルな実験〉に取り組む「木野寮プロジェクト」を発足！ 10/22：脱炭素WSを開催。サステナブルなアイデアを出し合うワークショップに18名の学生が参加 12/8：窓断熱WSを開催。共有部廊下の窓1枚＋空き室の居室窓1枚をDIYで二重窓にするワークショップに3名の学生が参加。二重窓による効果測定を実施中。 ホームページ：https://flat-a.co.jp/info/kinoryo_sdgs20221022/ https://flat-a.co.jp/info/kinoryo_sdgs20221208/

（WGで出たアイデア・意見）

- ・協力できる事業者との協働（例：ゴミのリサイクル、コンポスト、農園等）
- ・大学や専門学校の学生寮を巻き込む
- ・手軽にできる内窓設置の普及

R5年度の展開

取組内容の充実、実証フィールドの拡大

（案）窓メーカー・ホームセンター等と連携した内窓設置のモデルケースづくり等

住まい① つながりを感じられる住まいづくり（京都の冬は寒くないプロジェクト）



まずは窓枠のサイズを測って。



そして断熱材、枠組をカット。



組み立ててサッシにはめ込みます（この作業がなかなか大変だったそう）。



実証に進んだプロジェクト

住まい③ 実証実験によるデータ収集・分析と発信

目的 省エネ・再エネなどの行動変容を効果的に促す

方法

- ・ ユーザーである学生の意識や行動変容に関するデータを収集・分析するとともに、結果を発信する
- ・ 学生マンションでの実証実験として、Z世代など若者に刺さるメッセージやインセンティブ（例：EE電を活用した学割）を調査し、情報提供する

メンバー 丸屋、吉田、大木、鈴木 ★コーディネーター：前田

目標 若者向け効果的な発信方法の確立

検討内容

- ・ 賃貸物件や学生寮等に入居の学生向けにアンケート調査を実施（3月実施中）
- ・ 使用電力の見える化に関する実証実験（総合地球環境学研究所との共同事業）

（WGで出たアイデア・意見）

・ 大学や専門学校の学生寮を巻き込む

R5年度の展開

- ・ 学生向けアンケート調査の拡充と結果の発信方法の検討
- ・ 入居者の使用電力の見える化に関する実証事業の展開



住宅の断熱・省エネ、再エネに関するアンケート

本アンケートは「京都脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～」住まいに関するプロジェクトの一環として、学生やその家族の方々が望む、学生マンションを調査・研究し、業界全体でそれに向けた取組を生み出していくために実施します。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※アンケートの回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。また、調査の結果は今後のイベントや脱炭素社会の実現に向けた行動変容分析に活用し、それ以外の目的には使用しません。回収したアンケートは、情報等の漏えい、盗文、盗難、紛失等が起らないよう責任を持って管理し、調査終了後5年間保管の後、適切な方法で廃棄処理します。

アンケート実施団体：公益財団法人京都市環境保全活動推進協会・有限会社ひのぐや工房・ライフ研究所

～ 京都脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～とは ～
京都市では、世界の平均気温の上昇を1.5℃以下に抑え、2050年の京都の姿として、「**将来の世代が夢を描ける豊かな京都**」を実現するため、【**京都脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～**】を発足し、京都を担う若者を中心とする市民、事業者及び学識者と共に、日々の生活の中での選択が脱炭素につながるようなプロジェクトを生み出していきます。詳しくは、公式サイト「2050 MAGAZINE」をご覧ください！

Google にログインすると作業内容を保存できます。詳細

*必須

1. あなたについて教えてください。*

- ☐ 住居者本人
- ☐ 住居者の保護者
- ☐ その他: _____

次へ

1/6 ページ

フォームをクリア

実証に進んだプロジェクト

住まい④ 省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用

目的	省エネ家電を購入促進する
方法	- 省エネ家電を新生活家電セットのデフォルトとして表示するグループとそうでないグループに分け、有効性をテストする。 - 有効性が検証できれば、市内不動産賃貸業者や大学生協、家電量販店と連携して社会実装
メンバー	鈴木、吉田、丸屋
目標	大学生の省エネ家電購入率の向上
効果測定	大学生の省エネ家電選択による 1人当たりのCO2削減量 (kg-CO2)×人数
実績	- 大学入学者を対象に、新生活者用の通販カタログ「Debut!※」を通じて情報提供を行う。 ※（株）シングルライフコミュニケーションズが発行する新生活のための通販マガジン。全国約200校の大学・専門学校や、学生専門の不動産会社と連携 - カタログ裏表紙の家電2点セット（冷蔵庫・洗濯機）2種のうち、電力消費量が少ない冷蔵庫をデフォルトとして強調した場合の効果を検証。 - 令和5年度新入生向けに検証中。
その他	国事業「ナッジ×デジタルによる脱炭素型ライフスタイル転換促進事業」に係る「ナッジを用いた大学生新入生向けの高効率家電の購入促進」と連携して実施。

結果をとりまとめ、実証終了

省エネ家電購入促進に向けたナッジの活用

電力消費量が少ない冷蔵庫をデフォルトとして強調した場合の効果を検証



通販カタログ「Debut!」

対照群

早い者勝ち!!

洗濯機 + 冷蔵庫

数量限定!!

新生活応援家電 2点セット

TWINBIRD 家電 2点セット

TOSHIBA P-8000 洗濯機 全自動洗濯機 4.5kg ¥37,800 [8001]

TWINBIRD P-8000 冷蔵庫 シーリング式冷凍庫 シルバー ¥35,800 [8201]

¥73,600 (税込) → ¥2,800引き → **¥70,800** (税込) [注文番号 9801]

Panasonic 家電 2点セット

TOSHIBA P-8000 洗濯機 全自動洗濯機 4.5kg ¥37,800 [8001]

三菱 2ドア冷蔵庫 ホワイト ¥49,800 [8301]

三菱 2ドア冷蔵庫 ブラウン ¥49,800 [8302]

冷蔵庫 ホワイトのセット [注文番号 9802]

冷蔵庫 ブラウンのセット [注文番号 9803]

¥87,600 (税込) → ¥2,800引き → **¥84,800** (税込)

実験群 (デフォルト要素を追加した素案)

早い者勝ち!!

洗濯機 + 冷蔵庫

数量限定!!

新生活応援家電 2点セット

TWINBIRD 家電 2点セット

TOSHIBA P-8000 洗濯機 全自動洗濯機 4.5kg ¥37,800 [8001]

TWINBIRD P-8000 冷蔵庫 シーリング式冷凍庫 シルバー ¥35,800 [8201]

¥73,600 (税込) → ¥2,800引き → **¥70,800** (税込) [注文番号 9801]

Panasonic 家電 2点セット

TOSHIBA P-8000 洗濯機 全自動洗濯機 4.5kg ¥37,800 [8001]

三菱 2ドア冷蔵庫 ホワイト ¥49,800 [8301]

三菱 2ドア冷蔵庫 ブラウン ¥49,800 [8302]

冷蔵庫 ホワイトのセット [注文番号 9802]

冷蔵庫 ブラウンのセット [注文番号 9803]

¥87,600 (税込) → ¥2,800引き → **¥84,800** (税込)

推奨!

事務局が主体となり進めるプロジェクト

住まい⑨ 情報共有のHUBづくり

目的 各取組の状況をオープンに共有することで取組を活性化

方法 令和4年度京都市が開設予定の脱炭素ライフスタイルのWEBサイトに、再エネや省エネ住宅・家電等に関する情報共有ページを作成する。

＜今後の展開＞

2050 MAGAZINEの中で発信



公式ホームページ「2050 MAGAZINE」

つながりWG プロジェクト

	名称	内容
1	京都脱炭素ツーリズムのHUB創設	スローツーリズムの取組拡充（コンテンツの充実、ツアーの脱炭素化促進策の検討やツーリズムを通じた地域貢献の仕組み構築に向けた取組）
2	環境配慮型農業の実践	屋上菜園での農業体験等の取組を充実 Ex.)廃棄衣服をリサイクルした土壌ECOTTIの活用
3	地域での生ごみ堆肥の活用推進	環境に配慮したアクションに対して付与する、まちづくり通貨「京都祭コインCOMO」の取組の充実
4	脱炭素アンバサダー制度	事務局のオーナーシップで進める
5	サーキュラーエコノミービジネス人材の育成プログラム	令和5年度は、プロジェクト5～9を統合 統合プロジェクト 「公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト（仮称）」 → モデルとなる拠点（公園）での連携を検討。
6	土中環境の改善	
7	ていねいな暮らしを学べる学校	
8	歩くデジタルスタンプラリー	
9	規格外野菜の販売	

実証に進んだプロジェクト

つながり① 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設

目的	京都の脱炭素な取組をツアーを通じて広めていく
方法	- 市内での脱炭素に関する取組を集約し、参加者に学びながら取組とつながることができる場（ツアーコンテンツ）を提供する - 旅行者や修学旅行、会社研修に対して、体験型ツアーの情報を発信する - 脱炭素な取組を実施する団体等に対して、ツーリズムを通じて支援するとともに、脱炭素の数値効果の測定についても支援する
メンバー	野村、東、十塚、太田 ★コーディネーター：藤本
目標	取組団体数、取組全体による合計CO2削減量（t-CO2）
効果測定	- ツアー内容の工夫によるCO2削減（交通手段、省資源の推進、3R等） - 参加者の行動変容アンケート調査
実績	環境負荷が低く、人とつながり、地域に貢献するとともに、自分自身のライフスタイルも変えていく旅“スローツーリズム”のモデルツアー「京都スロージャーニー」を実施。 ①令和5年3月1日（水）こころのスロージャーニー（8名） ②令和5年3月2日（木）くらしのスロージャーニー（4名） ③令和5年3月3日（金）つながりスロージャーニー（2名） ホームページ：https://slowinnovation.jp/SlowTourism

（WGで出たアイデア）修学旅行や商店街と連携できれば。

R5年度の展開

スローツーリズムの取組拡充（コンテンツの充実、ツアーの脱炭素化促進策の検討、ツーリズムを通じた地域貢献の仕組み構築に向けた取組）

つながり① 京都脱炭素ツーリズムのHUB創設

① こころのスロージャーニー ～ものや食材を活かしきる 禅寺のあたりまえの日常～

【訪問先】

養徳院 副住職 横江氏



② 暮らしのスロージャーニー ～ 京都で持続可能な暮らしを 気軽に始める5つのポイント～

【訪問先】

合同会社洛北社中 代表 十塚氏



③ つながりスロージャーニー ～ コーヒーかすが生み出す もう一つの物語～

【訪問先】

mame-eco ブルーム氏



環境負荷が低い旅



人とつながる旅



地域に貢献する旅



スローな文化で
生きる旅

実証に進んだプロジェクト

つながり② 環境配慮型農業の実践

目的 環境に配慮した脱炭素型農業モデルの構築、発信

方法

- 農業に伴うCO2排出量の低減のため、トラクターの脱炭素化（廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の活用やEV化）、畑や事業所等で使用する電気を再エネ電気へ転換する
- 生ごみ堆肥で野菜を育てる資源循環型農業を推進する
- 市民や飲食店を対象とした農業体験の場をつくる
- 飲食店での地産地消食材活用を推進する
- 移動販売による地産地消を推進する

メンバー 中嶋、東、十塚

効果測定

- 再エネ設備導入や、エネルギーの切り替えによるCO2削減効果
- 生ごみ廃棄に伴うCO2排出量の削減分、窒素肥料から堆肥への代替によるN2O等発生量削減効果、代替された窒素肥料の製造に伴うCO2排出量の削減分
- 移動販売によるフードマイレージ削減量

実績

＜市民や飲食店を対象とした農業体験の場づくり＞
 さつまいも栽培体験を実施（6/12苗植え、10/15いもほり） ※ エコ学区事業「おやさい編」として実施
 ＜移動販売による地産地消の推進＞
 移動販売車を活用した地域での農作物の販売

（WGで出たアイデア）

- 自分達で作ったものを食べる活動を支援しては。百貨店や区役所の屋上等の場所を借り、菜園を実施しては。

R5年度の展開

屋上菜園等での農業体験の取組を充実

つながり② 環境配慮型農業の実践

循環型農業の推進・農業体験の場づくり



移動販売による地産地消の推進



実証に進んだプロジェクト

つながり③ 地域での生ごみ堆肥の活用推進

目的 生ごみ堆肥の活用による資源循環モデルの拡充

方法 家庭の生ごみ堆肥を回収し、地域の農家等で活用することで、地域循環の「ごみカフェモデル」を拡充する。
また、まちづくり通貨を通じて生ごみ堆肥等の環境配慮アクションに取り組む個人がつながり、アプリを通じてコミュニティを形成することで、一人ひとりが地域循環の担い手として持続可能なまちづくりに関わる機会を創出する。

メンバー 中田、十塚 ★コーディネーター：前田

効果測定 ・ 生ごみ廃棄に伴うCO2排出量の削減分 （年間CO2削減量：18kg/世帯 ※COOL CHOICE ウェブサイト出典）

実績 <LFCコンポスト堆肥回収会&ミニ講座の開催>
・ 7/23@大宮交通公園（16名参加。26.9kg回収）
・ 11/23@大宮交通公園（11名参加。27.4kg回収）
・ 2/25@すずなりランタン（8名参加。29.2kg回収） ※参加者8名に京都祭コインCOMOを付与
<まちづくり通貨「京都祭コインCOMO」の取組開始>
2/25開催の堆肥回収会に持参した方を対象に、まちづくり通貨を付与！
ホームページ：<https://www.gomicafekyoto.com/>

その他 「京都祭コインCOMO」の取組は、令和4年度「食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」推進事業」に採択

（WGで出たアイデア）

・ 大学等の学校現場と連携しては。

R5年度の展開 環境配慮アクションに対して付与する、まちづくり通貨「京都祭コインCOMO」の取組の充実

つながり③ 地域での生ごみ堆肥の活用推進



R5年度に取組を進めるプロジェクト

【プロジェクト統合】公園を活用したサーキュラーエコノミープロジェクト（仮称）

令和4年度の以下プロジェクトを統合

- ・サーキュラーエコノミービジネス人材の育成プログラム
- ・土中環境の改善
- ・ていねいな暮らしを学べる学校
- ・歩くデジタルスタンプラリー
- ・規格外野菜の販売

統合

目的 脱炭素アクションの拠点を創出する

方法 公園等で、サーキュラーエコノミーの実践や、人材育成等の場づくりを行うことで、幅広い層に脱炭素ライフスタイルに関心を持ってもらい、脱炭素アクションにつなげる。

効果測定 取組内容による

メンバー 十塚

（WGで出たアイデア）

- ・学校の部活動（特に文化系）と連携した取組



R5年度の展開

モデルとなる拠点（宝ヶ池公園・梅小路公園・大宮交通公園等）での連携を検討

市民参加を促すための取組①市民ワークショップの開催

10/3
(月)



＜区まちづくり会議の参加者対象＞ 環境から考える「衣食住」

【参加者】 53名 (GW7名)

【内 容】

- ・脱炭素社会をテーマに話題提供
- ・GWでは、環境活動に取り組む地域の方々と大学生が、活動の広め方等について意見交換

※ 上京区民まちづくり会議
「上京！MOW」と連携

10/8
(±)



＜焚き火イベントボランティア対象＞ 脱炭素ライフスタイルの 転換を考える作戦会議

【参加者】 24名

【内 容】

- ・焚き火イベント ホストのアーティスト小山田氏と京都大学准教授深町氏の対談と意見交換

※ ロームシアター京都主催イベントと連携

11/22
(火)



＜市民参加WSの参加者対象＞
「賃貸住宅の
脱炭素な住まい方」を考える

【参加者】 16名

【内 容】

- ・賃貸の脱炭素な住まい方を考え、空想の賃貸募集チラシを作成

※ 市総合企画局主催WS
「WE LOVE KYOTO」と連携

市民参加を促すための取組①市民ワークショップの開催

12/17
(土)



＜高校生、大学生対象＞

DO YOU KYOTO?2050アイデアソン

【参加者】7名

【内 容】

- ・脱炭素ライフスタイルの転換に向け、テーマ毎に参画企業と新たなビジネスアイデアを考える

【参画企業】

- ・(株)フラットエージェンシー
- ・(株)夢びと
- ・合同会社洛北社中

12/18
(日)



＜一般対象＞

明日から実践！環境に配慮した暮らしのアイデアを考えるWS

【参加者】4名

【内 容】

- ・アイデア発想法「マンダラート」を用いて、脱炭素ライフスタイルをテーマにアイデアを考える

【講師】

合同会社洛北社中 代表 十塚氏

2/11
(土)



＜高校生、大学生、一般対象＞

カードゲーム「2050カーボンニュートラル」体験会

【参加者】18名

【内 容】

- ・カードゲームを体験し、脱炭素社会の実現に向けた具体的な行動を学ぶ

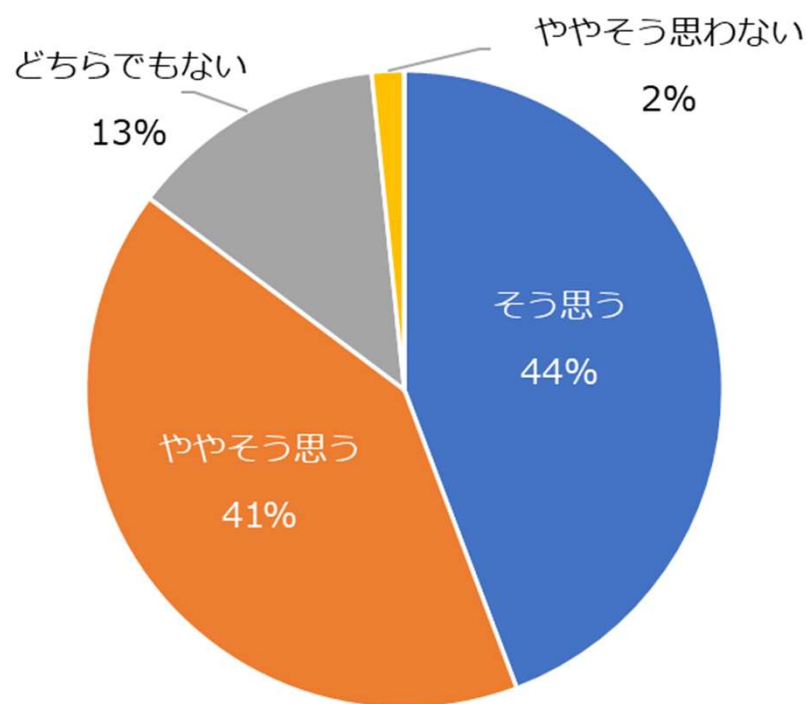
【講師】

(株)つなぐラボ 代表取締役 中西氏

市民参加を促すための取組①市民ワークショップの開催

Q) ワークショップに参加することで、
自身のライフスタイルを転換しようと思いましたか。

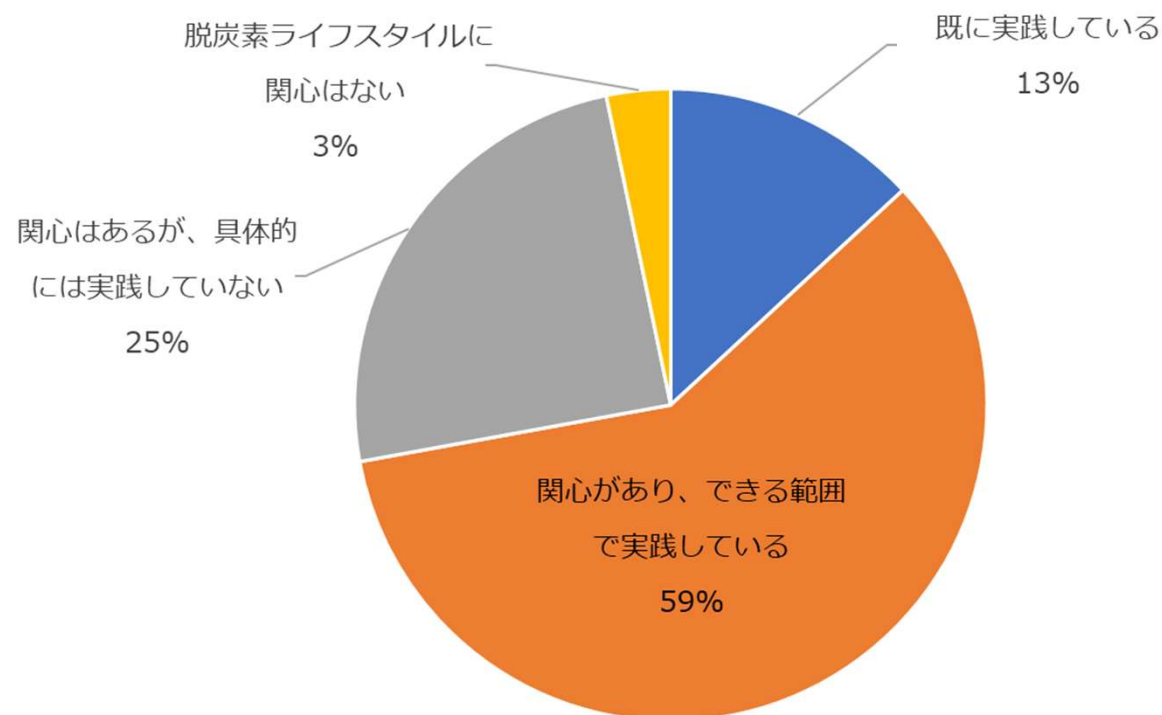
(回答数：61)



回答者の**85%**がWS参加により
ライフスタイル転換への意欲↑

Q) 脱炭素ライフスタイルについて、ご自身に
最も当てはまるものをお聞かせください。

(回答数：61)



回答者の**72%**が
脱炭素ライフスタイルを実践

市民参加を促すための取組②市民ライターによる情報発信

- 観光ガイドブック「d design travel」を発行するD&DEPARTMENT PROJECTと連携して、市民ライター養成講座を10月～12月に全3回実施。
- 参加者9名が、脱炭素ライフスタイルの転換につながる取組取材し、[2050magazine](#)で記事を公開。



1 京都伝統産業ミュージアム



2 長者湯



3 おこぶ北清



4 伏見屋河屋



5 保存食 LAB



6 株式会社いえ屋



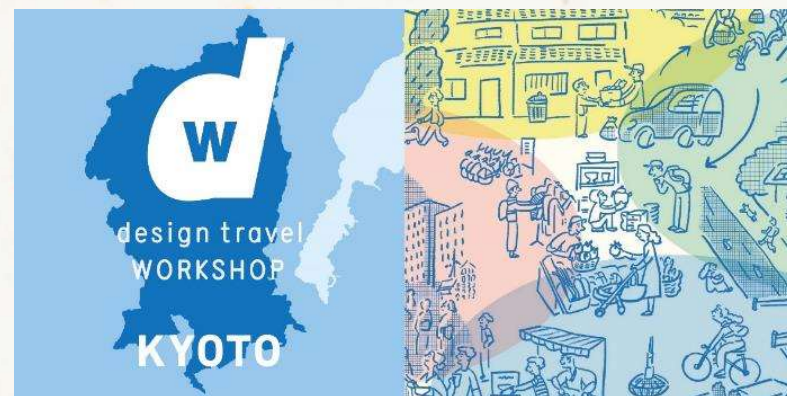
7 フランソア喫茶室



8 家守堂



9 山科 言親



市民参加を促すための取組②市民ライターによる情報発信

(記事掲載例)

2050 MAGAZINE



News & Topics

d design travel WORKSHOP KYOTO

2023.03.07

【d design travel WORKSHOP KYOTO】保存食LAB

1. 栗や柚子、人参、そら豆など京都産の果物や野菜を使用。

旬の果物や野菜を、ジャムやソース、豆板醤など瓶詰の保存食に加工。

2. 添加物を使わず、塩、砂糖、酢を基本とする伝統的な保存調理。

冷蔵保存ができる今だからこそ、塩分を控えた保存で、健康的かつ素材の味をより引き出す。

3. 近隣農家や飲食店とも連携し、廃棄食材を減らす取組みを実践。

規格外の野菜はソースやピクルスに、魚のアラは「ごまだし」にして使い切る。

「旬」で時間を止める

「保存食LAB」は同時期に大量に採れる食材を、手づくりで加工し「旬」を味わう瓶詰め保存食として販売する店。オーナーの増本奈穂さんが幼い頃、増本さんの祖母が、畑で採れた野菜や果物を漬物などの保存食にしていたことが原点だという。季節ごとに入れ替わる商品は、ジャムをはじめ「パセリと人参葉のグリーンソース」「自家製いちじくマスタード」、鮮やかな黄色が目を引く「練り柚子塩」など、香味野菜が使われるほか、スパイスが効いているものも。幼い子のいる家庭では、子どもに合わせた料理になりがちだが、そんな時、自分の取り皿にこの調味料を加えるだけで、いつもの料理が引き締まり、旬を感じられる。「最後まで美味しく味わう手伝いをしたい」と話す増本さんの、こころを感じた。(吉村智美/会社員)



今後の取組

令和5年度予算：20,000千円

- 京都発脱炭素ライフスタイルのビジョン等の発信

事業内容：市バスのリアステッカー、地下鉄ポスター、
ホームページ「2050 MAGAZINE」の改修 など

- 企業等連携によるプロジェクトの創出及び実証支援

事業内容：プロジェクトの実証支援、成果の情報発信 など

- 市民ワークショップ等の普及啓発の開催

事業内容：ワークショップやアイデアソンの開催、
市民ライターの育成 など

今後の取組

R3.9

R4.10

R5.3

令和5年度～

第1フェーズ

推進チーム

ビジョン等の構築

WG

プロジェクト案の検討

市民参加を促す取組

市民WSの開催

脱炭素ライフスタイルビジョンの構築

第2フェーズ

推進チーム

ビジョン等の発信

WG

プロジェクトの創出・実証

市民参加を促す取組

市民WSの開催、市民ライター養成講座の開催

<実績>

- ・プロジェクトのCO2削減効果：
約100t-CO2
- ・普及啓発人数：(R5.3現在)

取組	人数(人)
HP・SNS等の閲覧	約60,000
イベントの参加(循環フェス等)	約16,596
市民WSの参加	122
市民ライター育成の参加	9人

- ・ビジョン等の更なる普及
- ・市民を脱炭素に促す仕掛け(プロジェクト)を社会実装
- ・市民自らが実践者・発信者となり、行動変容の輪を広げる

脱炭素ライフスタイル実践の動きが市民運動的な広がりに！

行動層の増加

※カーボンフットプリントの活用を検討

↑(脱炭素ライフスタイルに取組む人)

意見交換・皆様から一言

・脱炭素ライフスタイルを実践する動きを市民運動的に広げていくために、今後の進め方へのアドバイスや、推進チームの役割・メンバーの皆様の関わり方について、意見交換をお願いします。

(20分)

・意見交換終了後に、皆様から一言ずつ御意見・御感想をいただきたいと思います！

(20分)



情報共有（脱炭素先行地域）

京都の文化・暮らしの脱炭素化で地域力を向上させるゼロカーボン古都モデル

1. 対象とする地域の位置・範囲、需要家数、民生部門の電力需要量等

伏見エリアを中心としつつ全市を視野に入れた
文化遺産群・商店街エリア等

伏見エリア

- ・市内で最も古い市街地の一つ、寺社や商店街を拠点に地域コミュニティを形成
- ・環境関連施設が集積

文化遺産群の脱炭素転換

再エネ設備・蓄電池
再エネ電力調達

15箇所 ⇒ 2030年 100箇所

現時点で、取組に賛同をいただいている文化遺産（2022年11月時点）

<伏見エリア>

伏見稲荷大社、藤森神社
真宗大谷派（東本願寺）伏見地区寺院
（東本願寺伏見別院、浄徳寺
光啓寺、専念寺、善通寺、受泉寺）
醍醐寺、妙福寺、大黒寺

<市域波及>

壬生寺
北野天満宮
法然院
京都御苑

伏見商店街エリアの脱炭素転換

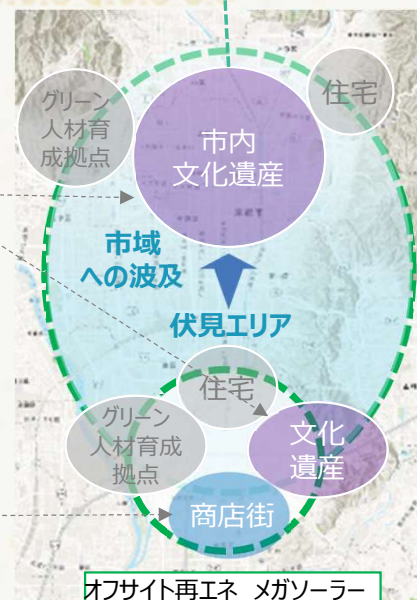
PV・蓄電池
再エネ電力調達

3商店街・187全加盟店

・伏見大手筋商店街
・納屋町商店街
・竜馬通り商店街
アーケード全長560m



京都広域再エネグリッド協議
会でエネルギー管理を一元化



地域コミュニティ拠点

住宅群・エリア

- ◆既存住宅群 市内各所100戸
- ◆市有地活用型脱炭素街区エリア
 - ・伏見工業高校等跡地エリア400戸
 - ・三宅市営住宅跡地エリア 14戸

グリーン人材育成拠点群

65施設

- ・龍谷大学深草キャンパス 28施設
- ・立命館大学衣笠・朱雀キャンパス 36施設
- ・京エコロジーセンター 1施設

歴史の古い文化遺産や商店街等を脱炭素転換することを通じて、
訪れてよし、商ってよし、住んでよしのサステナブルな賑わいを創出

情報共有（脱炭素先行地域）

2. 脱炭素先行地域における取組

○ 民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの主な取組

（１）文化遺産の脱炭素

駐車場や敷地内施設等導入箇所を工夫し、太陽光などの再エネ設備・蓄電池を導入することや、機器の省エネ改修、再エネ調達により脱炭素化を目指す

（２）商店街の脱炭素

ソーラーアーケード（全長560m）や店舗へ太陽光発電設備・蓄電池を導入し自家消費最大化。不足分を市遊休地を活用したオフサイト再エネ発電で安定的な再エネ供給

（３）住まいの脱炭素

- 地元工務店・優良ストック住宅推進協議会（スムストック）と業務連携し、既存住宅のZEHレベル化改修（部分改修含む）を促進
- 新たに、次世代ZEH+街区の形成と、PV・蓄電池・蓄電池制御EMS導入で経済的インセンティブを創出し、住宅の再エネ最大利用をモデル化

脱炭素転換を支える基盤的取組

（４）京都広域再エネグリッド協議会（仮称）で地域貢献型の再エネ供給するとともに、余剰電力の融通、デマンドレスポンス等で需給調整を行う

（５）**グリーン人材育成（先行地域をフィールドに脱炭素ライフスタイル行動変容を促進）**とグリーン人材育成拠点の脱炭素転換

（６）ローカル・グリーンインパクトファイナンスで自治体負担のない民間資金供給の枠組整備。金融機関、機関投資家、市民が出資の担い手となる脱炭素ファンドを組成。地域の金融・企業・市民・行政が連携して環境・社会に良いインパクトを創出する地域金融モデルに

○ 民生部門電力以外の温室効果ガス排出量削減等の主な取組

（７）移動の脱炭素

- ・ 点在する文化遺産を巡るタクシーのEV転換（738台）
旅行代理店や大学生が、ゼロカーボン修学旅行を企画・実施
- ・ 修学旅行生をグリーン人材に
- ・ 伏見稲荷駅をゼロカーボンステーション化

3. 脱炭素の取組に伴う地域課題の解決や住民の暮らしの質の向上等

（１）地域コミュニティの活性化

京都広域再エネグリッド協議会が、商店街や寺社といった地域コミュニティ拠点を脱炭素転換するために供給する再エネ電力について、**電力量料金の一部（最大2.5%）**を同拠点で**人々のつながりを生む活動費として寄付**することで、**再エネ利活用と地域経済循環・地域活性化の同時実現**を目指す。活動費を基に、大学生や新たな地域住民を巻き込みながら、**脱炭素をテーマにしたイベントや商品を企画**し、地域コミュニティを活性化する。

（２）地域防災対応力の向上

寺社や商店街といった地域コミュニティの拠点が、太陽光発電設備や蓄電池を備えることで、地域における災害時の防災対応力を向上する。

（３）環境先進エリアとしての魅力の創出

高断熱で健康・快適に暮らせるエネルギー自立型の住まいや脱炭素ライフスタイルを実践できる脱炭素型のまちづくりをはじめ、**再エネ100%転換を実現する主体を創出**することで、環境先進エリアとしての魅力を創出する。

SDGs学習のニーズが高まる中、EV観光タクシーで脱炭素先行地域を巡る**ゼロカーボン修学旅行**という新たな魅力を創出する。

<ゼロカーボン古都モデル・他地域への展開>

- ・ 京都市から**小京都（全国40都市）**等へ
脱炭素転換が困難と考えがちな文化遺産の転換モデルを提示
- ・ **本山から全国の関連寺院へ**
本山が集積する京都が有する全国の関連寺院へ波及する影響力
- ・ **修学旅行生**が自らの街に脱炭素体験を持ち帰り
- ・ **スムストックとの連携**でZEHレベル化改修促進の枠組みを**全国へ**

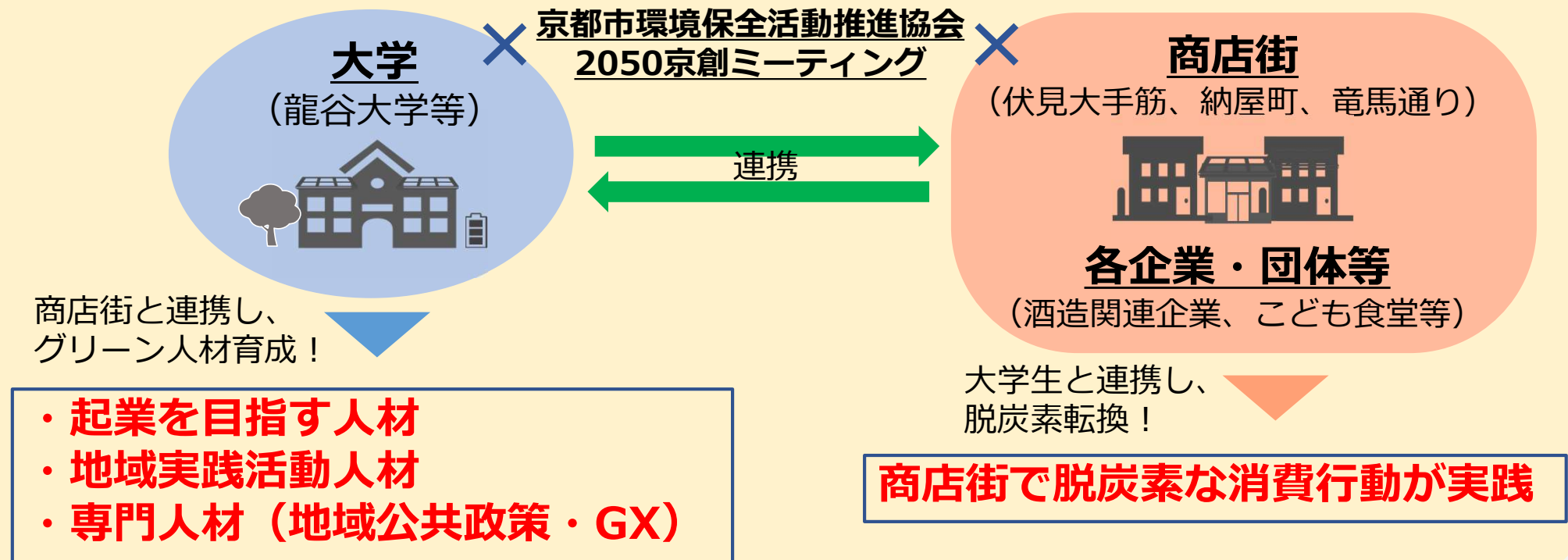
<市域全体への展開> 寺社・商店街・住まいといった普遍的なコミュニティの構成要素⇒市域全体へ

- ・ **京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050京創ミーティング～と連携し、市民・事業者が自分ごととして取り組む脱炭素アクションに**
- ・ 地球温暖化対策条例に基づく再エネ導入/建築士の再エネ説明義務制度等と一体的に取組を促すことで、市域全体に取組を拡大

脱炭素先行地域について（グリーン人材育成）

展開イメージ

フィールド：伏見エリアを中心に市内全域へ波及



脱炭素転換を実行する地域人材を育成！起業・市内企業への就職にもつなげる！

今後のスケジュール、事務連絡

【スケジュール（予定）】

- ・WG合同会議 令和5年9月
- ・WG会議（計2回） 令和5年12月、令和6年2月
- ・推進チーム会議 令和6年3月

【事務連絡】

推進チームの皆様には、ライフスタイルのビジョン等の共有・発信やプロジェクトへの助言等、今後も京創ミーティングに積極的に関っていただけると幸いです。

また、皆様の活躍フィールドに応じて、御協力やアドバイスをいただきたいと思いますので、4月以降、個別相談させていただきます。

（参考）京都発脱炭素ライフスタイル推進チーム～2050 京創ミーティング～について

●結成の趣旨

推進チームが先駆けとなって、他の市民や様々な事業者、団体等を巻き込みながら、「自分ごと、みんなごととして、未来のために自分たちに何ができるか」を考え、新しいライフスタイルを実践する動きが、市民運動的に広がることを目指す。